

# 日本語研修コース報告（2021年4月～2022年3月）

田中 信之

## 1 はじめに

大学院入学前予備教育日本語研修コースは、主として、文部科学省によって配置される大使館推薦国費研究留学生および教員研修留学生を対象とした日本語集中コースで、毎年4月と10月に開講し、各期15週間75日のコースを提供している。本稿では2021年前期の第35期と2021年後期の第36期について報告する。

## 2 受講者

第35期は大使館推薦の国費研究留学生1人が受講した。第36期は大使館推薦の教員研修留学生1人が受講した。受講・修了者は表1のとおりである。

表1 日本語研修コース受講・修了者（第35期・第36期）

期	名前	国籍	指導教員
35	カイダダヤ テレンス	パプアニューギニア	富山大学 小寺 剛 准教授
36	ヌル ファイザトゥル エマ ビンティ サラフディーン	マレーシア	富山大学 岡崎 浩幸 教授

## 3 コース担当者

国際機構専任教員2人（田中信之、朴銀鏡）と、非常勤講師7人（高島智美、田上栄子、中田理子、水田佳歩、藤田佐和子、要門美規、横堀慶子）が授業を担当し、田中信之と朴銀鏡がコースのコーディネートをを行った。

## 4 コーススケジュール

第35期は、2021年4月12日（月）に授業開始、同年8月2日（金）に授業が終了した。第36期は2021年10月4日に授業開始、2022年1月31日に授業が終了した。授業は15週間75日の集中授業である。

## 5 コース内容

授業は月曜日から金曜日まで1日3コマ、あるいは2コマであった。レベルは初級で日本語の授業は「文法 A1」「聴解・会話 A1」「漢字 A1」の計3科目である。ただし、第35期は新型コロナウイルスの影響によりオンライン授業となったが、受講者のインターネット環境が悪く、より受講機会を増やすため、[生活日本語 A1]も受講させた。これらの科目は日本語課外補講の授業と合同で開講される授業である。日本語科目は、基本的な日本語文法を習得し、運用できるようになること、文字についてもひらがなやカタカナ、基本的な漢字を習得することを目的として授業を行った。また、独自開発教材を用いて、正しい日本語の発音を身に付けるための指導も行った。

[使用テキスト]（主なもののみ）

<初級クラス>

- 文法 A 『みんなの日本語初級 I, II』第2版（スリーエーネットワーク）  
『みんなの日本語初級 I, II 書いて覚える文型練習帳』（スリーエーネットワーク）

『毎日の発音練習』（独自開発テキスト）

聴解・会話 A 『みんなの日本語初級 I, II 聴解タスク 25』（スリーエーネットワーク）

漢字 A 『(新版)BASIC KANJI BOOK VOL.1 基本漢字 500』（凡人社）

生活日本語 A 『Basic Japanese for Students はかせ』〈1〉（スリーエーネットワーク）

また、通常の授業の他に、学生の生活指導や悩み等の相談（コンサルテーション）を行うために、「特別指導 A」も行った。表 2 に第 35 期の時間割、表 3 に第 36 期の時間割を示す。

表 2 第 35 期日本語研修コース時間割

	1 (8:45 ~ 10:15)	2 (10:30 ~ 12:00)	3 (13:00 ~ 14:30)
月	文法 A1 (横堀)	文法 A1 (横堀)	漢字 A1 (高島)
火	文法 A1 (要門)	文法 A1 (要門)	
水	文法 A1 (高島)	文法 A1 (高島)	特別指導 A (朴)
木	文法 A1 (横堀)	文法 A1 (横堀)	聴解・会話 A1 (横堀)
金	文法 A1 (横堀)	文法 A1 (横堀)	生活日本語 A1 (中田)

表 3 第 36 期日本語研修コース時間割

	1 (8:45 ~ 10:15)	2 (10:30 ~ 12:00)	3 (13:00 ~ 14:30)
月	文法 A2 (田上)	文法 A2 (田上)	
火	文法 A2 (水田)	文法 A2 (水田)	聴解・会話 A2 (藤田)
水	文法 A2 (田中)	文法 A2 (田中)	
木	文法 A2 (中野)	文法 A2 (中野)	漢字 A2 (中田)
金	文法 A2 (田中)	文法 A2 (田中)	特別指導 A2 (朴)

※網かけのクラスは日本語研修コース専用クラス、それ以外は日本語課外補講との合同クラスである。

## 6 成績評価

文法 A ではメインテキスト（『みんなの日本語』）に基づく定期試験を 7 回実施した。この定期試験は筆記試験（文法、作文、読解）、聴解試験、会話試験から構成されるものであるが、学期の途中までオンライン授業となったため、会話試験のみ実施した。また、漢字 A のクラスでは期末に対面で試験を実施した。コース修了時に、コース全体の成績判定を行い、コースへの出席率も含めた成績表を作成して、受講者本人と指導教員へ通知した。

## 7 コース評価果

日本語研修コースでは、コース改善に役立てるため、学期終了時にアンケート調査を実施している。実施前に、成績等には全く影響しないことを伝えた上で、アンケート調査票に記入してもらった。調査項目はコース全体、日本語の授業の内容、テスト、宿題、特別指導、スタディ・エクサカーション、ホームステイの6項目である。回答方法は、5段階で評点をつけるものと、与えられた選択肢から該当する答えを選択するものがある。また、自由意見は日本語または英語で記入させた。

第35期生・第36期はともに受講者が1人のため、日本語研修コースでは結果を公開せず、日本語課外補講のアンケート結果に含めることとした。

## 8 おわりに

日本語研修コースは2022年3月に第36期生を送り出した。これまでに文部科学省からの配置学生等207人がこのコースを修了している。ここ数年、日本語研修コースの予備教育生は配置されない学期が続いたが、第35期、第36期と2期連続で受け入れることができ、安堵している。今後も、予備教育生が各自の専門課程で円滑に研究が行えるよう、日本語教育の充実を図っていきたい。